

# <sup>201</sup>Tl 心筋スキャンで RI 欠損を認めたが 正常冠動脈を有した 2 症例について

谷口 充,\* 油野 民雄,\* 久田 欣一\*  
宮崎 吉春,\*\* 井上 寿,\*\* 塩崎 潤\*\*  
村田 義治\*\*

<sup>201</sup>Tl 心筋スキャンにて明瞭なる RI 欠損を認めしたが、その後施行した冠動脈造影にて正常所見を有し、診断に苦慮した 2 症例について報告した。

## 〔症例呈示〕

第一例。62才、男性。1988年5月22日に、前胸部痛が出現し、心筋梗塞の疑いのもと入院となった。既往症として高血圧、アルコール性肝障害あり。入院時、意識は清明であり、浮腫や肺ラ音は認めなかった。脈拍数83/分、整、血圧170/90。胸部レ線は著変なし。入院時の心電図および酵素の経時的变化を、それぞれ図1および図2に示す。また図3に5月23日に施行した<sup>201</sup>Tl および<sup>99m</sup>Tc-PYP 2核種同時収集 SPECT による心筋シンチグラフィを、Bulle's eye 表示にて示した。図3左上段は<sup>99m</sup>Tc-PYP のイメージで右上段は<sup>201</sup>Tl のイメージである。前者では心尖部～下壁に異常集積を認め、後者では同部の RI 欠損を認め急性心筋梗塞と診断した。しかしながら、同日施行した冠動脈造影では有意狭窄は認めなかった。その後図2に示す如く心筋逸脱酵素が正常化するにつれ、心電図の異常所見もほぼ消失し、6月20日に施行した負荷心筋シンチ上も前記の RI 欠損は消失した(図4)。

第二例。46才、女性。1988年12月17日に、前胸部痛が出現し、緊急入院となった。既往症に特記すべきことはない。入院時、意識は清明であり浮腫や肺ラ音は認めなかった。脈拍数72/分、整。血圧140/80。胸部レ線は著変なし。入院時の心電図および心筋逸脱酵素の経時的变化を図5および図6に示す。また、図7に12月18日に施行した<sup>99m</sup>Tc-PYP 心筋シンチを、図8に同日施行した<sup>201</sup>Tl 心筋シンチを示すが、共に異常所見を認めなかった。入院後は、図6に示す如く酵素の正常化とともに心電図所見も正常化した。翌年1月12日に施行した<sup>201</sup>Tl 負荷心筋シンチにて前壁に fill in 良好な transient type RI defect を認めた(図9)。しかしながら1月13日に施行した冠動

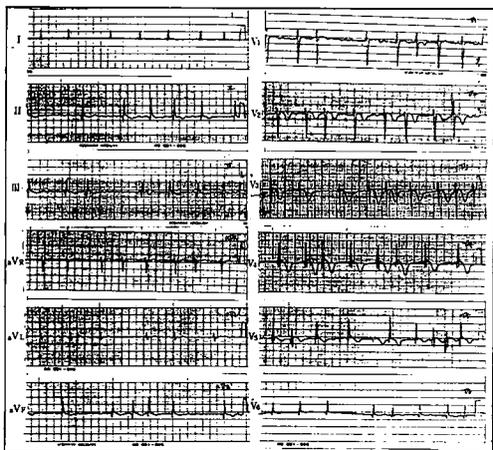
脈造影では有意狭窄を認めず、エルゴノビン負荷も陰性であった。心筋生検では間質にリンパ球の浸潤が軽度に認められた。

## 〔考察〕

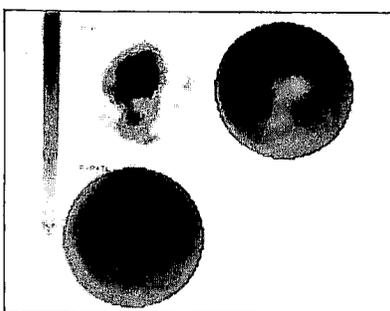
正常冠動脈造影所見を有するにもかかわらず<sup>201</sup>Tl 心筋スキャンにて RI 欠損を呈する疾患としては、左心室瘤、心挫滅、心筋症、心毒性薬剤、悪性腫瘍の心転移、穿通性胸部外傷、心のう液貯溜、心筋炎、冠動脈れん縮等が報告されている。また、これらの疾患はいずれも<sup>99m</sup>Tc-PYP が<sup>201</sup>Tl の欠損部と一致して集積することが報告されており、冠動脈硬化性の心筋梗塞との鑑別が必要である。第一例では、入院当初は急性心筋梗塞と診断したが、冠動脈造影上は有意狭窄を認めず、上記疾患群のうち、特に心筋炎ないしは冠動脈れん縮性の心筋梗塞もしくは心筋障害(stunned myocardium 等)が考えられる。1ヶ月後の<sup>201</sup>Tl 負荷心筋スキャンは正常であり、梗塞性の変化は考え難いといえる。従って心筋炎と冠動脈れん縮性の心筋傷害が可能性として残る。本例では心筋生検を行ってないので、両者の鑑別は容易ではない。ただ、仮に冠動脈れん縮が原因として証明されたとしても、心筋炎の関与を否定する根拠とはならない。なぜなら、冠動脈れん縮の原因として心筋炎の関与を示唆する報告が近年散見されるからである。逆に言えば、<sup>99m</sup>Tc-PYP および<sup>201</sup>Tl 心筋スキャンで梗塞様の focal な集積異常を示す心筋炎症例のうち、冠動脈れん縮が関与している症例が少なからず存在する可能性がある。第二例目は心筋生検により間質のリンパ球浸潤が証明されており、心筋炎症例と考えられるが、1月12日の<sup>201</sup>Tl 負荷心筋スキャン上の一過性 RI 欠損は、原因として冠れん縮以外は考え難く、正に心筋炎と冠れん縮の合併した症例と考えられる。

\* 金沢大学 核医学科

\*\* 公立能登総合病院



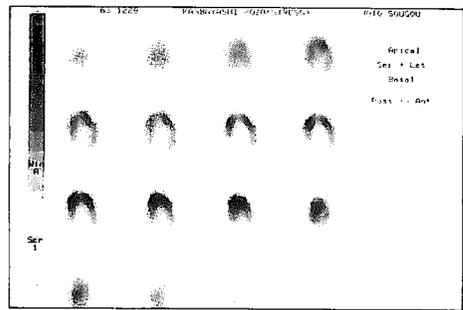
	5/23	5/27	5/24	7/7
CPK	163	103	68	36
LDH	339	340	364	238
GOT	27	35	29	24
GPT	15	17	13	22



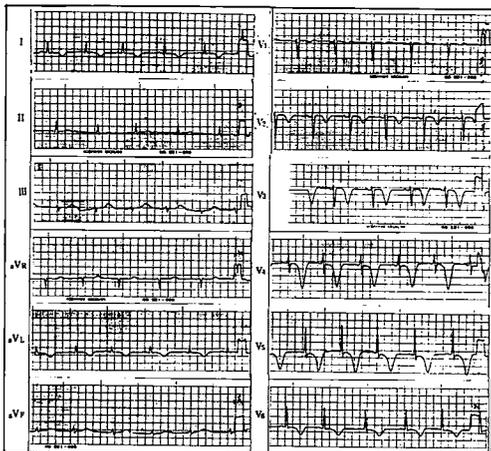
▲☒ 2

▲☒ 3

▲☒ 1



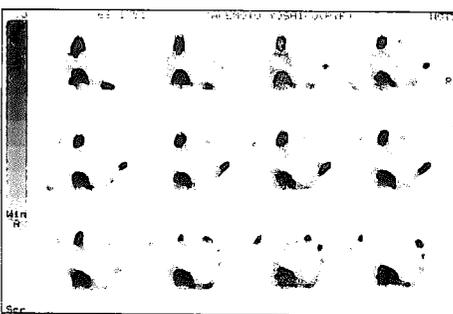
▲☒ 4



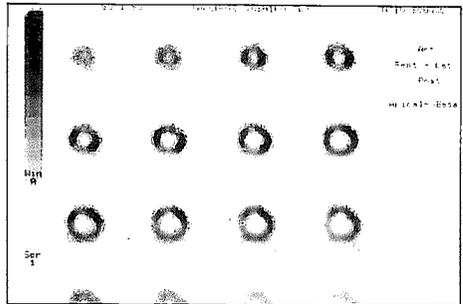
▲☒ 5

	12/17	/18	/19	/26	1/13
CPK	185	225	142	29	
LDH	323	305	250	248	228
GOT	26	30	15	24	16
GPT	13	11	8	16	12

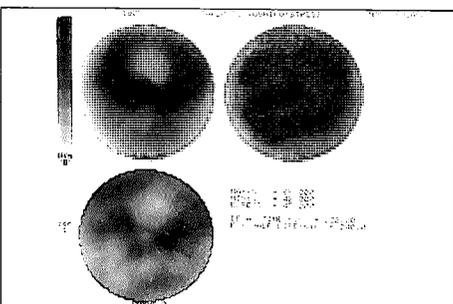
▲☒ 6



▲☒ 7



▲☒ 8



▲☒ 9